

【ものづくり 人づくり 地域づくり】2015 総代会特集 (2)

いのち・平和なくらしー安保法制

## 1万数千人の女たちの

## 国会包囲



先日13日生協の総代会で、理事より「わたしたちはひとり一人のいのちを大切にするために力を寄せて協同している。生協の役割を食の安全だけに絞って活動をとという意見もあるが、今や政治や経済に対して声を上げないと、いのちの存在さえ守れない危うい状況になっているのでは」との提案がありました。

その最たる経験がいのちを育むべき食や環境に命を傷つける放射能をまき散らされた原発事故であり、そして今、時の政府はいのちを殺し合うことを解釈改憲で容認する安保法制を国会会期を延長してまで押し通そうとしています。生協の理事会でも総代会で特別声明を決議してはとの議論もあったとのこと。

6月20日、1万数千人の女たち・母親たちは、今年1月に続いて赤いものを身につけて国会を包囲した。

その2日前の18日には93歳になる病床の瀬戸内寂聴さんが京都から国会前に現れ、車いすから立ち上がって「どうせ死ぬならここで死ぬ。戦争に良い戦争は絶対ない。すべて人殺しです」と訴えた。



24日夜、民意のうねりは3万人となって国会を包囲した。

今、わたしたちは大切にすべきいのちと平穏な暮らしを守ってゆけるのか、根こそぎ奪われるのか歴史の分岐点の前夜にいるのかもかもしれない。

組織を挙げてでなくとも、ひとり一人が行動し声を上げる刻かもしれません。



### 理事会あいさつ

副理事長 大石光伸



おはようございます。

理事長ですが2週間ほど前、綿畑を開拓していたところ背骨を傷めてしまい大学病院に入院しています。皆様には「申し訳ありません、よろしく願いいたしますと伝えてほしい」とのことでした。代わりに私が理事会を代表して挨拶させていただきます。

皆様、改めまして「本日は新しい本部と配送センターによろこそ」というのではなく、ここは本当に皆さんの力で作っているものですから「私たちのもの」だと思っていただけたらと思います。

先輩組合員さんからメッセージをいただいております。「思い返してみますと苦難の連続でしたね。それを乗り越えて本部、そしてセンターの完成は感慨深いものがあります。本当におめでとう」と。組合員と一緒に喜んでくれることが本当にうれしいです。

この建物は40年の歴史の中で3回目でしょうか。最初私が生協に入った時には飯場のプレハブでした。そのときの職員の数は5人ほど。ほとんどは組合員さんがそこにどんと構えていらっやって、職員はその元で仕事や配達をしていました。生協スタート時は組合員さんがボランティアで、お父さんがお勤めから帰ってきてから牛乳の配達をしていていた時代があります。

この地に改めて建て直したのは、常総生協出発時に地主の下村さんが「この地に協同組合を作ろう」という願いで「みんなでここを使っていいよ」とタダ同然でこの土地を提供してくださってきました。下村さんに限らず多くの先輩組合員の思いがこの地にあるので、新しい工業団地などには行かず、少し手狭だったのですがこの土地で建替えとさせて頂きました。地主の下村さんは昨年、生協との土地契約などを全部済ませて亡くなられ、すぐそこに見えますお墓で見守ってくださっています。

本当に大変な時期には理事さんが職員の代わりに配達までして下さった。経営が危ないと言われた時期もありました。そのときは生産者も「常総生協をつぶすな」ということでお金を集めてくださったり、常総生協を支えようということで商品を提供してくれたことがありました。

今日は若い組合員さんから大先輩の組合員さんまで本当にありがとうございます。

ここが3回目のセンターとなりますが、今日ここにあるのは本当に組合員さんと生産者の力、それから地域の皆さんが見守ってくださったおかげと改めて感謝申し上げたいと思います。建物というよりも人のつながりがとっても大事で、40年も経ますと先ほどのようにずっと一緒に喜びも苦しみも乗り越えてきた仲間がいるということだけで元気になります。

つい4年前、こんなセンターを建てるなんて全く考えておりませんでした。原発事故です。2011年3月、「生協もう無理だ、これで終わった。1年後解散」と内部的に決めました。関東にはもう住めなくなると判断して、若い職員家族から順次避難させるということを12日夜決めておりました。組合員も全国にちりちりになるので解散するにあたって避難先を

ちゃんと確認しておこう、出資金の返済を検討したのが3月20日ぐらいです。40年来「地産地消」でみんなで力をあわせて大切にしてきたものが一瞬にして汚染されてしまった絶望感でした。生協活動を継続できるとはまったく考えられませんでした。

その絶望の中から立ち上がって、今こうやって新しいセンターも出来て、もう一度地域の皆さんと一緒に活動できることに本当に感謝申し上げたいと思います。

社会的な状況についてはTPPまで含めて総代の代表のお二方が話してくださいました。次の10年に向けて私たちの暮らし・食の安全を守り、どう環境や子どもたちの健康を見守っていくか。

協同組合はとても面白いところです。これだけいろいろな人材がいて、人が繋がりがながら力が何倍にもなっていくというのは普通では考えられません。次の10年に向けた議案を十分討議検討していただけますようお願いいたします。

## 1号議案 2014年度決算報告

## 2014年度活動報告はNews6-3にて報告済

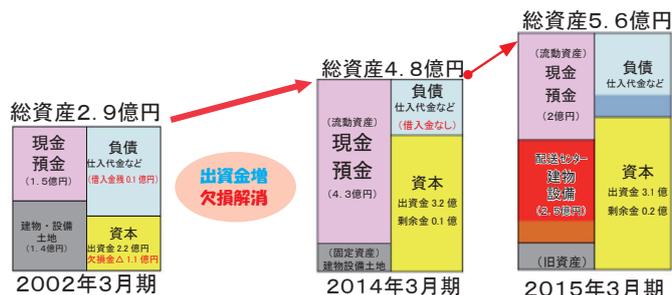


貸借対照表  
(2015年(平成27年)3月31日現在)

損益計算書  
自:2013年(平成25年)4月1日至:2014年(平成26年)3月31日

常総生活協同組合 (資産の部)		(負債の部)	
<b>I 流動資産</b>	204,845,274	<b>IV 流動負債</b>	148,588,833
現金・預金	85,293,053	買掛金	116,278,770
事業未収金	92,607,947	未払費用	11,752,412
商品	14,055,750	未払法人税	4,569,000
未収入金	13,688,524	賞与引金	3,000,000
貸倒引当金	-800,000	未払消費税	0
<b>II 固定資産</b>	353,226,606	預り金	8,674,874
1. 有形固定資産	306,540,972	出資充当預り金	4,313,777
建物	149,848,465	<b>V 固定負債</b>	83,949,654
構築物	1	長期借入金	70,000,000
車輛運搬具	62,340	退職給与引当金	13,949,654
器具備品	30,616,942	◎負債合計	232,538,487
建物付属設備	63,694,170		
土地	62,319,054		
2. 無形固定資産	10,438,444		
ソフトウェア	4,386,470		
借地権	6,051,974		
3. その他の固定資産	36,247,190		
関係団体出資金	9,205,400		
差入保証金	6,975,640		
預託金	66,150		
生産支援基金	20,000,000		
<b>III 繰延資産</b>	193,006		
公共施設負担金	193,006		
<b>資産合計</b>	<b>558,264,886</b>	<b>◎ 純資産合計</b>	<b>325,726,399</b>
		<b>負債・資本合計</b>	<b>558,264,886</b>

常総生活協同組合 (単位:円)	
科目	金額
<b>I 供給事業</b>	
供給高	954,035,852
供給原価	
期首商品棚卸高	13,480,443
仕入高	696,732,789
合計	710,213,232
期末商品棚卸高	14,055,750
<b>供給剰余金</b>	<b>257,878,370</b>
<b>II その他事業収入</b>	
配達料	7,114,287
共済受託収入	4,213,219
其他受取手数料	167,728
<b>事業総剰余金</b>	<b>269,373,604</b>
<b>III 事業経費</b>	
人件費	174,227,695
(内 退職給与引当繰入金)	(5,000,000)
物件費	126,577,214
<b>事業剰余金</b>	<b>-31,431,305</b>
<b>IV 事業外収益</b>	
受取利息	111,517
受取配当	125,410
雑収入	2,854,236
(内 2012年度みなし脱退者出資金振替)	(1,260,478)
基本料	17,145,500
<b>V 事業外費用</b>	
支払利息	52,356
繰延資産除却費	14,403
震災支援費用	3,048
雑損失	807,424
<b>経常剰余金</b>	<b>-12,071,873</b>
<b>VI 特別利益</b>	
貸倒引当戻入益	800,000
賞与引当繰入益	3,000,000
東電損害賠償金	59,031,060
<b>特別剰余金</b>	<b>62,831,060</b>
<b>VII 特別損失</b>	
貸倒損失	53,612
貸倒引当繰入損	800,000
賞与引当繰入損	3,000,000
原簿特別損失	8,070,260
固定資産除却損	9,454,374
仮移転費用	19,782,200
<b>税引前当期剰余金</b>	<b>9,598,741</b>
法人税等充当金	4,500,000
<b>当期利益</b>	<b>5,098,741</b>



### 剰余金処分

科目	金額(円)
<b>I 当期未処分金</b>	
前期繰越剰余金	872,658
当期剰余金	5,098,741
当期未処分剰余金	5,971,399
<b>II 当期処分額</b>	
法定準備金(1/10以上)	600,000
任意積立金	5,000,000
当期処分額合計	5,600,000
<b>III 次期繰り越し剰余金</b>	<b>371,399</b>

次期繰越剰余金には、教育事業等繰越金300,000円が含まれています。

【催しもの】生協に熱いメッセージをくれた鎌仲ひとみさん最新作

福島ーチェルノブイリ 国境を越えて「被ばく」から子どもを守る母たちのドキュメンタリー

# 『小さき声のカノンー選択する人々』

【とき】 8月29日 (土) 15:00 ~ 17:00

【会場】 牛久エスカードホール (JR 牛久駅西口イズミヤ4 F)

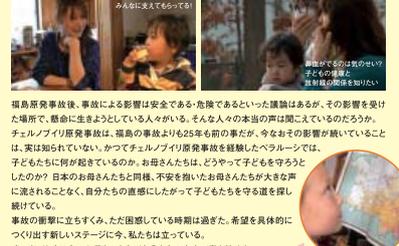
【入場料】 1,000円 【主催】 カノン上映実行委員会牛久



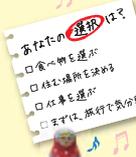
はじめはみんな、泣き虫なフツーのお母さんだった。

「六ヶ所村ラプソディー」「ミツバチの羽音と地球の回転」の鎌仲ひとみ監督最新作！福島、そしてチェルノブイリ後のベラルーシ。母たちは、「希望」を選択した。

今私たちは謙虚に命にむきあわなければならない時代に生きています。小さくあることこそを大切にしたいという思いでこの映画を作りました。映画が一人でも多くの悩みや揺らぎの中に生きるお母さんたちに届きますように。



鎌仲ひとみ監督からのメッセージ



2015年 **8月29日(土)**  
 上映 15:00 ~ 17:00 (開場14:00)  
 会場 エスカードホール JR 牛久駅西口イズミヤ4F  
 入場料 1000円 高校生以下無料 (総現はありません)  
 主催: カノン上映実行委員会牛久  
 共催: 環境学習同好会 / 原発にらぬ牛久の会 / 生活クラブまち牛久福商會  
 後援: 生活クラブ 牛久久ブロック / 常総生協  
 顧問: 総協発ネットワーク茨城  
 問い合わせ: tel 029-874-5089 (朝中) 村中 yanboubo@gmail.com



## 【鎌仲ひとみ監督からのメッセージ】

今、私たちは謙虚に命にむきあわなければならない時代に生きています。

誰もが小さな存在だけでも、小さくあることこそを大切にしたいという思いでこの映画を作りました。

映画が、一人でも多くの悩みや揺らぎの中に生きるお母さんたちに届きますように。

鎌仲さんが2012年に寄せてくれた生協のお母さんたちへ

